

第1学年2組 音楽科学習指導案

研究テーマ

主体的・協働的に学びを深める生徒の育成

～課題を自分事として捉え、課題解決に向けて粘り強く学習に取り組む生徒の育成～

題材を通して育成したい子どもの姿

学級で決めた楽曲を歌いたいイメージで表現できるよう、生徒一人一人が課題を自分事として捉え、課題解決に向けて粘り強く合唱練習に取り組む姿

1 題材名 校内合唱コンクールに向けて
～ 1年2組の合唱を作り上げよう ～

2 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につける。 【知識及び技能】
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 【主体的に学習に取り組む態度】

3 題材について

本題材では、校内合唱コンクールに向けた曲の練習を通して、楽曲に対する自分のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素を知覚しながら、表したい歌唱表現について考え、歌唱について思いや意図をもって学習活動を進めることをねらいとしている。

教材『君をのせて』

宮崎 駿 作詞

久石 譲 作曲

富澤 裕 編曲

混声二部合唱

本学級の生徒は、合唱コンクールに向けて意欲的に練習に取り組んでいる。合唱コンクールでは、どんなイメージで歌いたいかを全員で考え、歌いたいイメージを大切にしながら練習に取り組んできた。また、校内合唱コンクールは1年生にとって初めての行事になるため、イメージがもてない生徒も多いが、練習してきた成果を保護者・全校生徒の前で発表できることを楽しみにしている生徒も多く、自信をもって発表できるよう支援していきたい。生徒の歌唱表現を創意工夫する過程を大切にしながら、生徒の思考の流れを把握し、生徒それぞれの思いをつないで、学級の歌いたい歌として表現していけるようコーディネートしていきたい。

- 第一次では、校内合唱コンクールで歌いたい楽曲を選曲し、1年2組が目指す楽曲表現を部分ごとに音楽を形づくっている要素から考えさせたい。
- 第二次では、目指す歌声の課題解決のために音楽の見方・考え方を働かせながら、合唱曲の練習に取り組ませたい。練習した成果をタブレット等を活用し、歌声や姿勢など客観的に確かめながら改善に向けて練習させたい。
- 第三次では、校内合唱コンクール後のまとめの活動として、アンサンブル形態で実技テストを行い、個人評価につなげたい。

4 題材計画（全 11 時間）

次	時	学習活動（目指す子どもの姿）	※ 評価規準
一	1	・校内合唱コンクールに向けて、1年2組が歌いたい曲を決める。	※曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 [知識・技能]
	2	・多様な歌唱曲を鑑賞し、校内合唱コンクールに向けて、1年2組が目指す歌声を考える。	
二	3	・目指す歌声に向けて、合唱曲の練習をする。	※音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、よさや美しさを味わっている。 [思考・判断・表現] ※曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 [知識・理解] ※合唱コンクールに向けて、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]
	4	・音程・リズム	
	5	・反復	
	6	・1年2組が目指す歌声に迫るために、【A】の部分の課題解決に向けて協力して取り組む。	
	7	・1年2組が目指す歌声に迫るために、【B】の部分の課題解決に向けて協力して取り組む。	
	8	・1年2組が目指す歌声に迫るために、【C】の部分の課題解決に向けて協力して取り組む。	
9 本 時	9	・1年2組が目指す歌声に迫るために、【D】の部分の課題解決に向けて協力して取り組む。	
	10	・1年2組が目指す歌声の課題解決に努め、全体の曲想の質を高めるよう学級全体で協力して取り組む。	
三	11	・身につけた歌唱表現に関わる知識や技能を活かして、実技テストで発表する。	※歌唱表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 [知識・技能]

5 本時の研究の視点

【視点1】学びを自分事として捉える指導の工夫

- 校内行事との関連を図り、自らの学級が選んだ楽曲に対して、学級の一員として課題解決に向けての自分の課題を明確にし、価値づけすることにより、自分の考えを再構築させる。

【視点2】課題解決に向けて、協働的に学び合う指導の工夫

- 自分の考えと他者の考えから、表現したい曲のイメージに近づくために、課題解決の視点を発声(声の響かせ方)や歌い方(歌詞の表現や強弱)の2点に着目して工夫させ、ふさわしい音楽表現を学級全員で作り上げることを実感させる。

6 本時で働かせる見方・考え方

- 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、よさや美しさを味わい、1年2組の合唱にふさわしい音楽表現を工夫する。

7 本時のねらい

表現したいイメージをもち、発声（声の響かせ方・声のあて方）や歌い方（ブレスの仕方・強弱）を工夫することにより、歌いたいイメージ（1年2組にふさわしい）の歌声で合唱ができる。

8 学習過程 (9 / 11)

学習内容・活動 (予想される子どもの反応)	時間	◇教師の支援 ※評価
<p>1 学級の合唱曲を歌唱する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="181 477 695 589" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年2組が表現したい(歌いたい)曲のイメージに近づくために音楽表現を工夫しよう。</p> </div> <p>3 課題解決に向けて合唱練習する。</p> <p>(1) 課題1 「D」の部分</p> <div data-bbox="181 808 695 1115" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ u~の部分の歌い方は、祈りの歌をまねてみよう。響かせるような歌い方がふさわしいね。 ○ 祈りの歌をもう一度聴きたいな。 ○ 早く歌ってみたいな。 ○ 録音した歌声を聴いてみたいな。 ○ もうすこし練習したいな。 ○ 練習前と変わったね。 </div> <p>(2) 課題2 「2番」の部分</p>	<p>3</p> <p>7</p> <p>30</p>	<p>◇ 前回の授業から学級でどれぐらい練習を進めることが出来たか成果を聴かせてほしいと生徒に伝え、意欲を喚起できるようにする。歌声を録音し、本時の課題につなげる。</p> <p>◇ 録音した合唱を鑑賞し、合唱表現をさらに高めるための課題を考え、パートごとに話し合わせる。</p> <p>◇ パートごとに考えた課題を発表し、学級全体で本時の課題を確認する。</p> <p>◇ 学級全体で確認した課題から、本時で課題解決するための個人目標を設定させ、課題を明確にさせる。</p> <p>◇ 1年2組が表現したい曲のイメージに近づくために、本時で取り組む課題を個人事に設定し、一人一人が学習課題を自分ごととして捉えられるようにする(視点1)。</p> <p>※ 本時で取り組む個人課題を考えることが出来たか。(ワークシートへの記述)</p> <p>◇ 第2時で確認した、歌唱曲の多様なイメージの内容から、祈りの歌を鑑賞し、1年2組が考える曲のイメージに近づけるためには、どうしたらよいかパートで考えさせる。</p> <p>◇ イメージに近づけるための練習をした後、歌声を録音し、イメージに近づけることが出来たか確認させる。</p> <p>◇ 納得がいくまで、曲の練習ができるよう時間の確保をし、練り上げさせる。</p> <p>◇ 録音した歌声を聴き、練習した部分に納得ができたなら、次に練習したい部分を考えさせる。</p>
<p>4 本時のまとめをし、学習を振り返る。</p> <p>(1) 本時のまとめをする。</p> <div data-bbox="197 1464 695 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表現したいイメージをもち、発声(声の響かせ方)や歌い方(歌詞の表現や強弱)を工夫すると1年2組にふさわしい合唱ができる。</p> </div> <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p> <div data-bbox="197 1693 695 2022" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 声のあて方によって響きが変わることが分かった。 ○ やさしい感じにするためには息の速さを遅くするとよいことに気づいた。 ○ 歌詞を聴いている人に伝えるためには、口の開け方や発音の仕方が大切だと分かった ○ 体育館で歌った時に、音量が十分か、響きのある歌声か確認してみたい。等 </div>	<p>8</p>	<p>◇ 課題解決を図るため自分の考えと他者の考えから発声と歌い方に視点をあて、表現を工夫させることにより、1年2組にふさわしい表現を学級全体で作り上げていく実感を味わわせる。(視点2)。</p> <p>※ 自分の考えと他者の考えから、1年2組が考える曲のイメージに近づくために、音楽表現を工夫することができたか。(発表・楽譜への記述)</p> <p>◇ 一人一人の気づきを発表し、全体で共有しながら、生徒の言葉で本時のまとめをさせる。</p> <p>◇ 本時を振り返り、本時で気づいたこと、分かったこと、できたこと、達成度を高めるために次時で頑張りたいことなどを生徒の言葉で振り返りカードに記入させる。</p> <p>◇ 振り返りカードは、授業の終わりに回収し、教師は生徒の思いを捉え、次時の学習につなげる。</p>
<p>5 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>2</p>	<p>◇ 次時は本番直前の授業のため、体育館で行うことを伝える。</p>